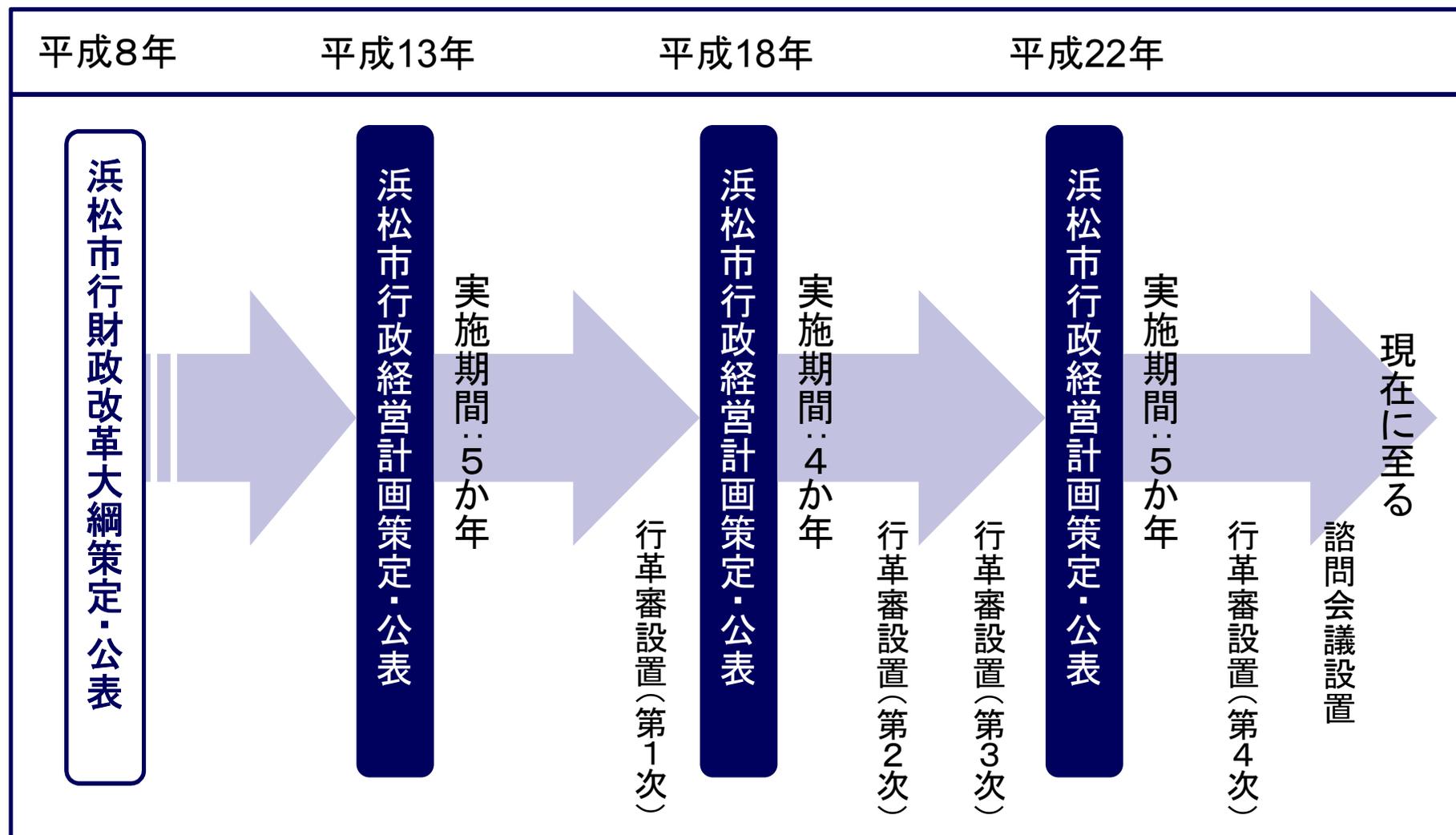


行政経営計画について (総論)

企画調整部 行政経営課

浜松市の行財政改革への取り組み





1 現行行政経営計画について

経営資源の有効活用や市民協働の推進、スピード感ある市民サービスの提供などの観点から、既存の施策や事業を見直し、より効率的な行政運営を進めるため、行財政改革の具体的取組を示し、その進行管理と評価を行うもの。

(1) 計画期間

平成22年度～平成26年度（5年間）

(2) 計画の構成

基本指針としての「総論」と個々の取り組みを具体的に示した「実施計画」により構成

(3) 実施計画数

158件（平成25年度の取組事項数）

1 現行行政経営計画について

(4) 進捗状況

| | | 取組事項 | |
|-----------|------------|------|--------|
| | | 件数 | 割合 |
| 平成24年度までに | 目標を達成した | 54件 | 34.2% |
| 平成25年度に | 目標を達成した | 9件 | 5.7% |
| | 計画よりも進んでいる | 14件 | 8.9% |
| | 計画通り | 76件 | 48.1% |
| | 計画よりも遅れている | 5件 | 3.1% |
| 合 計 | | 158件 | 100.0% |

- 63件の取組事項が目標を達成した
- 153件（96.9%）の取組事項が順調に進んでいる

1 現行行政経営計画について

(5) 取り組みの成果

ア 財政的効果（単位：億円）

| | H22年度 | H23年度 | H24年度 | H25年度 | 累計 |
|------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 実績 | 26.9 | 64.6 | 76.8 | 102.1 | 270.4 |
| (計画) | (14.8) | (29.7) | (34.0) | (40.4) | (118.9) |

イ 人的効果（単位：人）

| | H22年度 | H23年度 | H24年度 | H25年度 | 累計 |
|------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 実績 | ▲76 | ▲115 | ▲95 | ▲68 | ▲354 |
| (計画) | (▲76) | (▲98) | (▲90) | (▲67) | (▲331) |

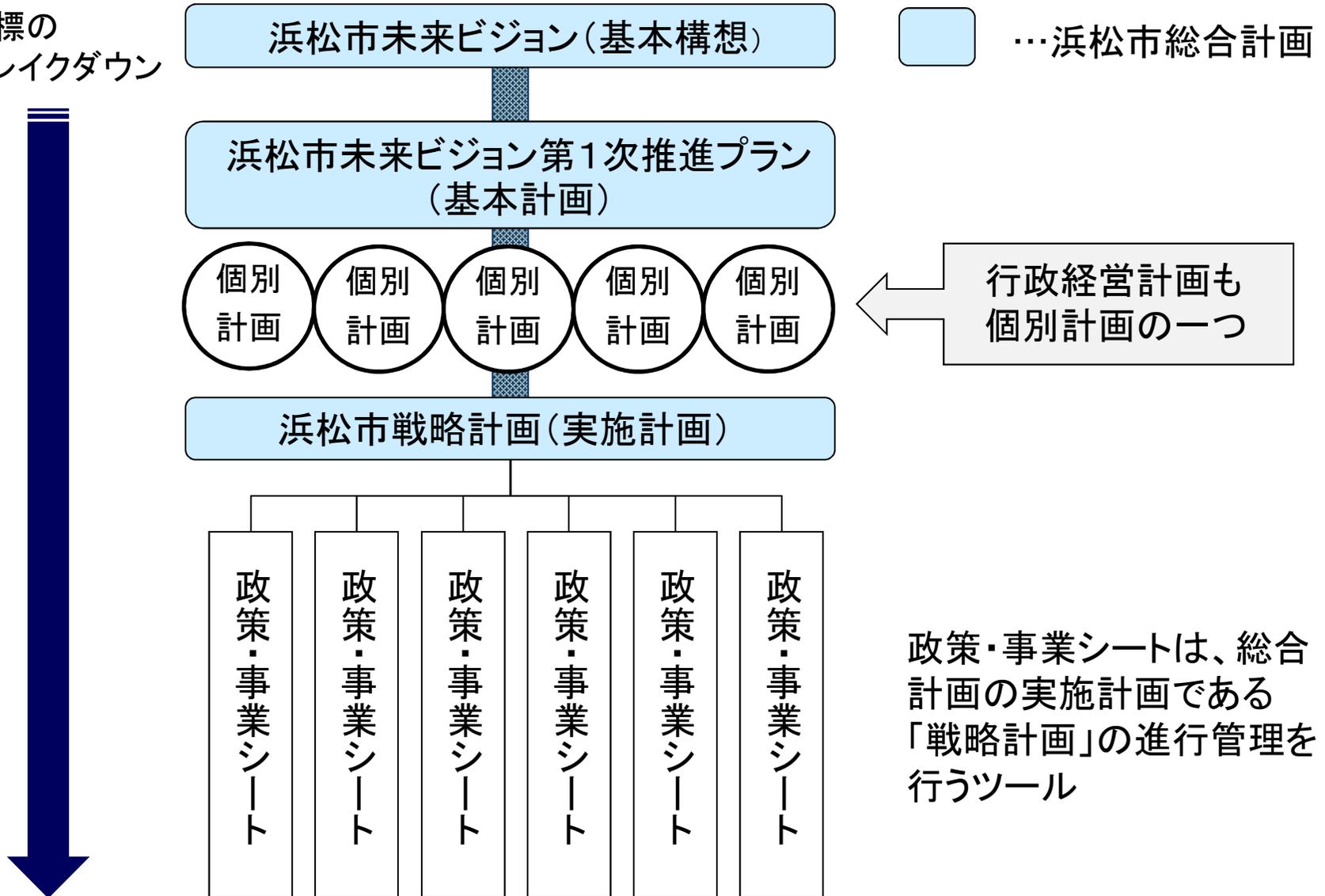
1 現行行政経営計画について

(6) 主な取り組み

| 推進項目 | 取組事項名 |
|-----------------|--|
| 効率的な市政運営 | 情報システムの最適化 |
| 組織・機構の最適化 | 本庁・区役所体制の再構築、適正な執行体制の構築、区制度の検討 |
| 定員管理・給与等の適正化 | 時間外勤務の縮減、特殊勤務手当の見直し、総人件費の削減 |
| 健全財政の持続 | 中期財政計画に基づく財政運営、補助金の見直し、市税現年分収納率の向上、国民健康保険料の収納率向上 |
| 資産経営の推進 | 公有財産の最適化、公有財産の活用、借地の解消 |
| 市民協働の推進・民間活力の導入 | 民営化・民間委託の推進、指定管理者制度の推進、市民協働の推進 |
| 教育環境の整備 | 学校規模適正化、認定こども園の設置 |
| 外郭団体の見直し | 外郭団体改革プランの進行管理 |

2 次期行政経営計画について(総論)

目標の
ブレイクダウン





2 次期行政経営計画について(総論)

(1) 位置付け

総合計画の進行管理を行う「戦略計画」と両輪で、行政経営をけん引する計画

(2) 構成

「総論」と「実施計画」により構成

ア 総論

- 行財政改革を推進するための基本指針
- 目的、必要性、計画期間、構成、推進体制

イ 実施計画

- 個々の取組内容を具体的に明示
- 実行責任者、目的、現状分析、課題・方向性、取組項目、目標、達成指標、評価、次への展開



2 次期行政経営計画について(総論)

(3) 計画期間

平成27年度～平成30年度（4年間）

(4) 推進体制

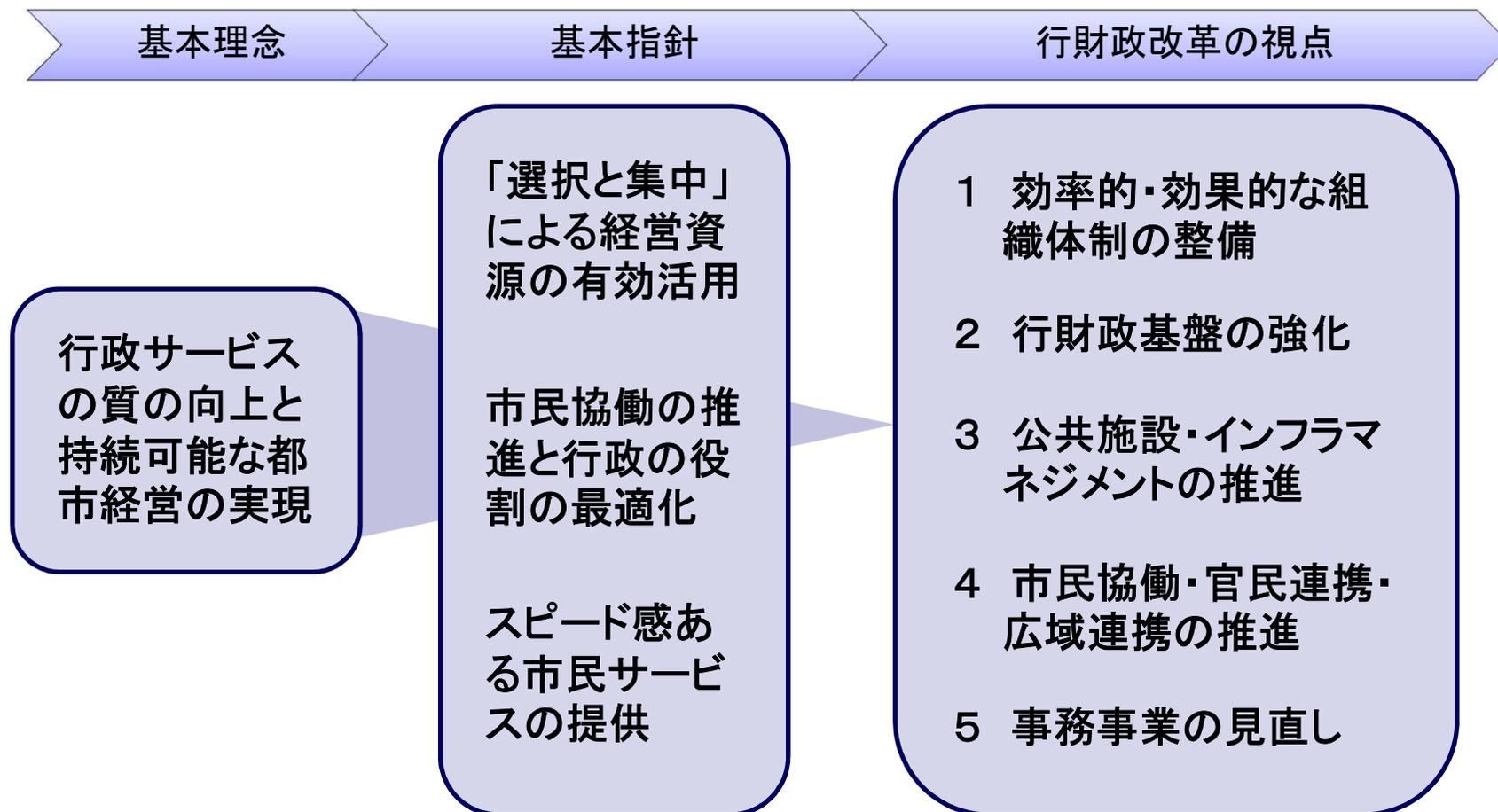
- 市長を本部長とする「浜松市行財政改革推進本部」
- 総務部、財務部、企画調整部を構成メンバーとする会議体
- 外部の有識者を構成メンバーとする市長の諮問機関

(5) 進行管理

- 半期（6か月）ごとに進捗状況を評価
- レベル（重要度）ごとに進捗状況を確認
- 議会、浜松市行財政改革推進本部への報告

2 次期行政経営計画について(総論)

(6) 計画の体系図





2 次期行政経営計画について(実施計画)

見直しの内容

- 重要な課題に絞り込み、計画レベルを整理・統合
- 政策・事業シート（評価）と一体的な進行管理

見直しの効果

- 重点化による管理体制の強化、適切でわかりやすい目標設定による確実な進行管理
- 選択と集中による事業の見直し、政策・事業シート（評価）を行革推進ツールとして活用
- 一体的な進行管理、全事業を行革取組の対象とする

2 次期行政経営計画について(実施計画)

(1) 計画の集約

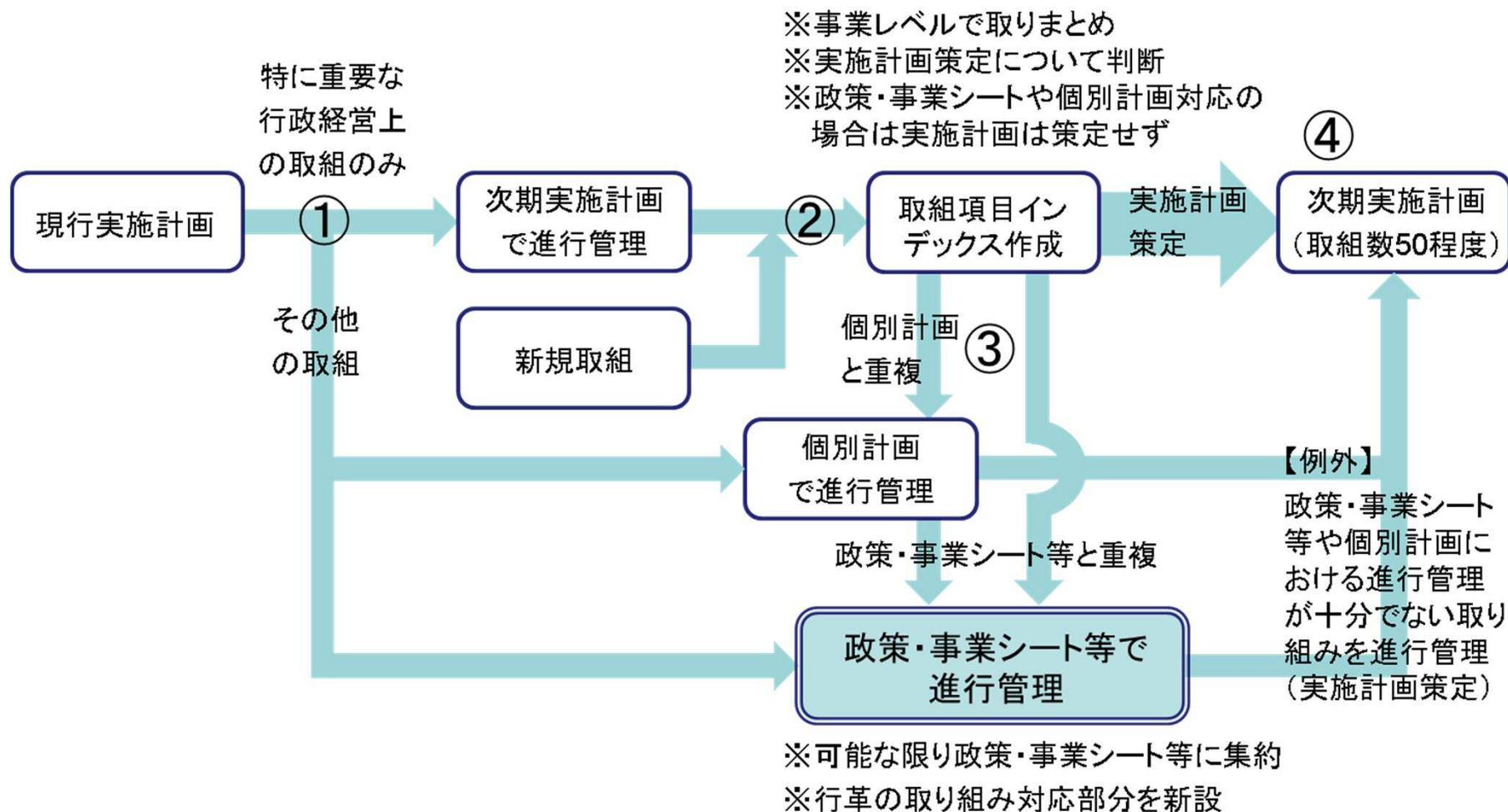
| 区分 ※ | 現行計画 | | | 次期計画 | |
|---------|------|-----------------|---|-----------|---|
| | 計画数 | 進行管理の方法 | | 計画数 | 進行管理の方法 |
| G 1 | 4 1 | 行政経営計画で 進行管理 | → | 5 0 程度 | 特に重要な行政経営 上の課題（主にG 1 レベル）に絞り、行 政経営計画で進行管 理（他は政策・事業 シート、個別計画等 で進行管理） |
| G 2 | 5 2 | | | | |
| G 3 | 4 | | | | |

※実施計画は、取り組みの重要度に応じ、3段階のレベル(G1、G2、G3)に区分し、進行管理

| | 実行責任者 | 進捗状況の確認 |
|-----|----------|----------|
| G 1 | 所管部・局・区長 | 市長 |
| G 2 | 所管課長 | 所管部・局・区長 |
| G 3 | グループ長 | 所管課長 |

2 次期行政経営計画について(実施計画)

(2) 見直しのフロー





2 次期行政経営計画について(実施計画)

(3) 取組の内発化促進

- 階層別(幹部職員、管理職、監督職、一般職員)に行財政改革推進のための研修会・説明会開催
- 行革の視点を強化した政策・事業シート(評価)との連携(行政経営計画と政策・事業シート等が一体的となった進行管理体制の構築)
- 企画調整部・総務部・財務部のメンバーで構成する会議体により、客観的、横断的な視点から実施計画を精査(内部の進行管理体制の更なる強化)

次期計画期間終了時には、各部課が自ら行財政改革の取り組みを策定し、適切な進行管理ができる組織体制を構築

2 次期行政経営計画について(実施スケジュール)

